

昼生小だより

令和3年10月8日 No.15

気持ちのよいあいさつをしよう！～Part 4～

これまでに「気持ちのよいあいさつの習慣化」を目指して様々な取り組みを進めてきました。それを保護者や地域の皆様と共に、更に進めていこうと考え、児童会の呼びかけによって全校で取り組んだ「あいさつ標語」の代表作をポスターにしました。ポスターは、10月29日の全校帰りの会で、子どもたちに紹介し、児童玄関や職員室前掲示板等に掲示してあります。



今後は、まちづくり協議会や自治会長さんに依頼をして、昼生地区コミュニティセンターや各地区の集会所等に掲示していただく予定です。

ポスター掲載の標語は3つですが、それ以外にもたくさんの標語が集まり、そこにそれぞれの子どもの思いや願いや込められていたことを汲み取っていただき、あいさつのあふれる家庭や地域づくりにつなげていただければ嬉しく思います。

学校でも引き続き、子どもたちと一緒に取り組みを進めていきます。



9月29日、第2回昼生っ子集会が開かれました。2回目にして、前期児童会が主催する最後の集会となりました。緊急事態宣言下での開催だったので、役員さんたちは、密を避け、それでもみんなで楽しめる会にしようと工夫してくれました。



「ジェスチャーゲーム」や「体でじゃんけん」をしました。役員さん以外にも、くじ引きで指名された子が前に出てジェスチャーをしたり、じゃんけんをしたりしました。突然の指名にもかかわらず、臆することなくみんなの前に出ていく姿に頼もしさを感じました。後で、「前に出られたのが嬉しかった」という感想も聞かれました。



久しぶりにみんなで集まり楽しさを共有できたこと、そして、みんなの笑顔が見られたことを大変嬉しく思いました。

歴史博物館出前授業



10月6日、3・4年生が歴史博物館の出前授業を受けました。

国語科の読み物教材に、3年生では「ちいちゃんのかげおくり」（あまんきみこ作）が、4年生では「一つの花」（今西祐行作）があります。いずれも戦争中のお話です。物語の中には、「もんぺ」「防空ずきん」の挿絵や「ぎつろう」「ぼうくうごう」「出征」といった言葉が出てきます。子どもたちにとっては、実物を見たり、その時の写真を見ながら聞いたりすることが、物語の設定をつかむことや作者の意図を読み取ることに繋がります。

当日は、出征するときの写真、その写真に写っている出征幟（^{のぼり}出征者への^{はなむけ}餞として縁故者から贈られたもの）や千人力（一枚の布に千人の人が「力」の字を書いて、武運長久を祈り出征兵士に贈ったもの）等の実物を見せていただき、写真の中の人々がどのような思いだったのか考えさせられました。また、黒く塗られた電球や電灯の笠などもあり、当時の生活の一端を知ることができました。今後の学習に、ぜひ活かしてほしいと思います。



後期児童会役員選挙がありました

10月8日に後期児童会役員選挙がありました。立会演説会では、9人の立候補者から「元気なあいさつができるような取り組みをしたい」「コロナの感染を予防しながら、楽しい昼生っ子集会をしたい」「みんなでできる遊びを考えたい」「廊下走りをなくす取り組みをしたい」といった声が聞かれました。「昼生小学校をもっとよくしていこう」「みんなのためにがんばろう」という意欲をもつことは素晴らしいことです。当選した暁には、ぜひ実現させてほしいものです。

